



東京都立南平高等学校 学校通信 令和5(2023)年度 11月号

校長 松永 今日子

10月中旬、38期生とともに、修学旅行から無事帰ってまいりました。高校2年生は帰ってきてすぐの中間考査で余韻に浸る間もなかったかもしれませんね。昨年度までの感染防止に重きを置いた様々な行動制限を受けながら修学旅行からかなり自由度の高い修学旅行になったかと思えます。

初日、機材トラブルにより1時間遅れで羽田空港を出発し、当初、島原半島から長崎の見学の予定でした。事前学習で、普賢岳噴火からの火砕流による被害やそこからの復興について学んでいたことを現地で学ぶ機会ではありましたが、残念ながら見学はかないませんでした。いつか自分たちで現地を訪れてほしいと思います。

とはいうものの、急な予定変更にもかかわらず、その後の班行動を長崎市内、ハウステンボス、福岡市内と行い、友人たちとの良い思い出ができたのではないのでしょうか。

また、残った高校1年生も校外学習や日本赤十字社との防災教育などを行いました。参加した生徒は非常に満足をしたと聞いています。そして、高校3年生はそろそろ受験も始まっていますし、夢をかなえるために頑張っている様子がうかがえます。これから、面接の練習など始まってくるでしょう。私も全力で応援します。

2学年



1日目 (10/12)

羽田空港 → 福岡空港 → 平和記念公園・原爆資料館 → 宿舎



2日目 (10/13)

宿舎 → 市内班別研修 → 水辺の森公園 → 宿舎

3日目 (10/14)

宿舎 → ハウステンボス (園内班別行動) → 宿舎



4日目 (10/15)

宿舎 → 太宰府・福岡市内班別研修 → 福岡空港 → 羽田空港 → 帰宅